

参考積算条件書（その1）

(東京湾アクアライン連絡道
牛袋高架橋耐震補強工事)

令和7年9月29日

東日本高速道路株式会社 関東支社

【注意事項】

- (1) 参考積算条件書は、入札（見積）参加者が見積作成する際の参考資料であり、契約書第1条に規定する設計図書ではない。従って、請負契約上の拘束力を生じるものではない。
- (2) 本資料に掲載の内容についての質問・問合せには一切応じられない。
- (3) 本資料に掲載の材料価格掲載予定項目について変更する場合がある。
- (4) 本資料の全部又は一部を閲覧者が複製、転載、電子媒体等へ入力し、また、それらを第三者に譲渡、販売、配布することを禁止する。
- (5) 本資料を基にした公表資料の二次的著作物の作成を禁止する。

1.材料単価掲載予定項目

①生コンクリート

名称	道路名	I C区間 (○○地区)	単位	単価(円)
A1-5a	東京湾アクアライン連絡道	袖ヶ浦 I C～木更津 J C T	m3	—
P3-2	東京湾アクアライン連絡道	袖ヶ浦 I C～木更津 J C T	m3	—

※留意事項

- ・単価には、有料道路料金費は含まれない。

②アンカーボルト

名称	規格・仕様	単位	価格	備考
アンカーボルト	D29×775(SD345)・M27 第1種・第3種ナット (SS400)・座金 M27(SS400)・ネジ切り長90・ 溶融亜鉛メッキ(ネジ切部)	組	—	牛袋高架橋 P14
	D32×1150(SD345)・M30 第1種・第3種ナット (SS400)・座金 M30(SS400)・ネジ切り長100・ 溶融亜鉛メッキ(ネジ切部)	組	—	井尻橋 P27、30 牛袋橋 P50、53
	D32×1200(SD345)・M30 第1種・第3種ナット (SS400)・座金 M30(SS400)・ネジ切り長100・ 溶融亜鉛メッキ(ネジ切部)	組	—	牛袋橋 P50、53
	D32×1220(SD345)・M30 第1種・第3種ナット (SS400)・座金 M30(SS400)・ネジ切り長100・ 溶融亜鉛メッキ(ネジ切部)	組	—	井尻橋 P27、30
	D51×1145(SD345)・M48 第1種・第3種ナット (SS400)・座金 M48(SS400)・ネジ切り長130・ 溶融亜鉛メッキ(ネジ切部)	組	—	井尻橋 P27、30 牛袋橋 P50、53
	D51×1190(SD345)・M48 第1種・第3種ナット (SS400)・座金 M48(SS400)・ネジ切り長175・ 溶融亜鉛メッキ(ネジ切部)	組	—	井尻橋 P27
	D51×1195(SD345)・M48 第1種・第3種ナット (SS400)・座金 M48(SS400)・ネジ切り長180・ 溶融亜鉛メッキ(ネジ切部)	組	—	井尻橋 P30

※留意事項

- ・単価には、有料道路料金費は含まれない。

③緩衝材

名称	規格・仕様	単位	価格	備考
緩衝材	200×50×850(クロロプロエンゴム相当)〈硬度 55° ±5° 程度〉・孔加工含む	枚	—	牛袋高架橋 P23
	200×50×1200(クロロプロエンゴム相当)〈硬度 55° ±5° 程度〉・孔加工含む	枚	—	牛袋高架橋 P23
	200×50×1500(クロロプロエンゴム相当)〈硬度 55° ±5° 程度〉・孔加工含む	枚	—	牛袋高架橋 P23
	200×50×1800(クロロプロエンゴム相当)〈硬度 55° ±5° 程度〉・孔加工含む	枚	—	牛袋高架橋 P14、20 井尻橋 P27、30 中郷高架橋 P37、43 牛袋橋 P50、53 十日市場高架橋 P59
	200×50×1900(クロロプロエンゴム相当)〈硬度 55° ±5° 程度〉・孔加工含む	枚	—	牛袋高架橋 P20 袖ヶ浦 IC B、Cランプ橋 A1
	200×50×2000(クロロプロエンゴム相当)〈硬度 55° ±5° 程度〉・孔加工含む	枚	—	牛袋高架橋 P20、23
	380×50×450(クロロプロエンゴム相当)〈硬度 55° ±5° 程度〉・孔加工含む	枚	—	井尻橋 P27

※留意事項

- ・単価には、有料道路料金費は含まれない。

④落橋防止構造

名称	規格・仕様	単位	価格	備考
落橋防止構造 C1-452 (100)緩衝チェーン3型(3リンク)	設計地震力(緩衝チェーン3型(3リンク)1本当たり)452kN 設計遊間量 100mm L=2,000	組	—	牛袋高架橋 P14
落橋防止構造 C1-458 (100)緩衝チェーン3型(3リンク)	設計地震力(緩衝チェーン3型(3リンク)1本当たり)458kN 設計遊間量 100mm L=2,000	組	—	牛袋高架橋 P14

※留意事項

- ・単価には、有料道路料金費は含まれない。

2. 間接工事費補正区分

項目	内 容		
適用工種	橋梁保全工事（修繕）		
共通仮設費 現場管理費	施工地域補正	補正あり【一般交通影響あり（1）】	○
		補正あり【一般交通影響あり（2）】	—
		補正あり【市街地（D I D 地区）】	—
		補正なし	—
	4週8休の補正	週単位	○
		工期単位	—
	市街地（D I D 地区）		
現場環境改善費	市街地（D I D 地区）以外		
	計上しない		
	一般管理費等	補正あり	○
		補正なし	—

3. (最終) 参考見積書

参考積算条件書（その1）では掲載対象外

4. 土木工事積算基準および単価の適用年月等

項目	内容
土木工事積算基準適用年月	令和7年度版
単価ファイル適用年月	令和7年10月
物価資料等適用年月	令和8年2月
建設機械等損料表適用年度	令和7年度版